

GN206W-P 光センサーバグキー 取扱説明書

R2016.03.29

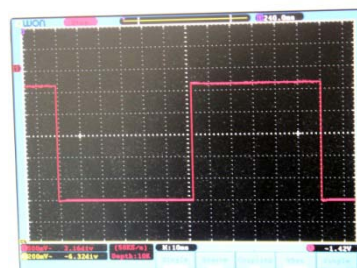
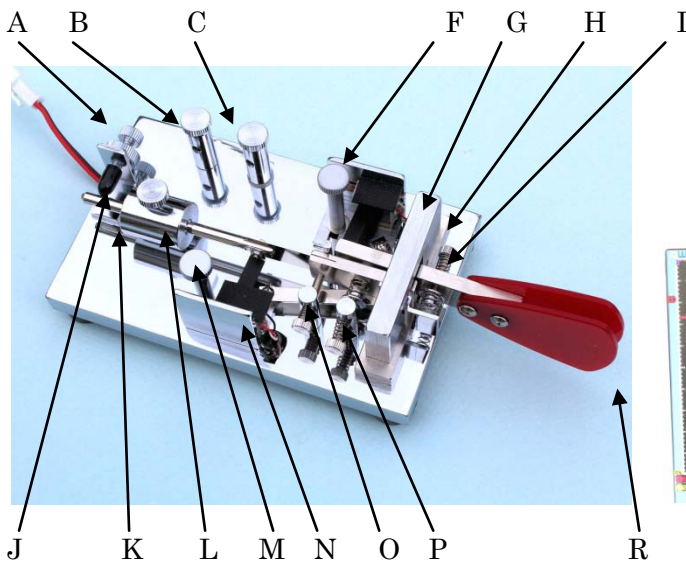
この度は GN206W-P 光センサーバグキーのお買い上げ誠に有難う御座いました

特徴

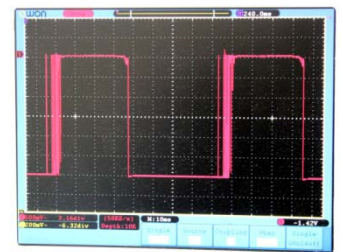
- ・バグキーとしては小型で音も静かです、ゴム足は4個で 低重心設計の為 操作性は抜群です
- ・ヘアピン接点がありませんのでチャタリングの無い綺麗な短点符号が長く出ます(下の写真)

調整手順

- ① バグキーが置かれた机等が水平になっている事を確認します
- ② 付属コードの赤に 13.8V のプラスを 黒を電源のアースにつなぎます、電源はリグの電源と共用可です、電流は約 20mA です(電圧は約 12V から 14V 位まで OK ですが リップルが無い事)
- ③ ツマミと錘を写真の様に取付ます (ツマミの面取りをして有る側を外側にします)
- ④ シャフト K と振り止めのシリコンゴム J が軽く触れるようにネジ A を調整します
- ⑤ ツマミ R を左から右に押した時にツマミの先端(体に近い方)が 1~2 ミリ動くようにネジ O を合わせます
- ⑥ この時のバネ圧をネジ P で合わせます
- ⑦ この時シャフト K に取り付けられた錘 L が左右に振れますがその動きが終息した時 ネジ M を緩め光センサーのフレームの位置を調整し符号が出るギリギリの位置に調整します、そのあとネジ M で固定します、このことの微調整はネジ O で再度調整します
- ⑧ ツマミ R を右から左に押した時にツマミ先端で 0.5~1 ミリ位動くようにネジ F を緩め長点用の光センサーフレームの位置を調整し ネジ F を固定します
- ⑨ この時のバネ圧をネジ I で合わせます



GN206W-P の短点波形



メカ接点バグキーの短点波形

端子 B はアース、端子 C はキーOUT です

尚 キーOUT は半導体スイッチングのプラスキーイングです、キーイングしないときは端子 B と C を逆にしてみてください(真空管式リグには使えません)

株式会社GHDキー

981-3326 宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

022-779-0681 www.ghdkey.com